【スライド動画】 【Photo Album】 2020 秋コロナ禍の中で 【和鉄の道2020】

2020 Iron 09

水田稲作の始まり 縄文人と弥生人共生を明らかにした猪名川河口域の村

伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 久しぶりに周辺の猪名川・藻川 walk 2020.11.15.







縄文晩期/弥生早期 関西の水田稲作は 縄文・弥生の人たちが共生して暮らす中で始まった 猪名川の河口域には そんな水田稲作の村が幾つもあった





内容

1. 8年前の和鉄の道・Iron Road 2013 「水田稲作の始まり縄文と弥生の融合を示す田能・口酒井遺跡を訪ねる」

https://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1302kuchinosakai.pdf

今回のwalkのoutline 田能遺跡・口酒井遺跡の概要は8年前のこの資料で

2. 田能資料館開館 50 周年特別展「田能遺跡の弥生人」 小冊子 2020.11 月より

https://www.infokkkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanotokubetsuten.pdf

3. 伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk 2020.11.15.

◆ MP4 スライド動画

◆ PDF Photo Album ◆ pdf web file

mp4 スライド動画; https://www.infokkkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanowalk.mp4

約8年前2012年12月に田能遺跡資料館で開催された「弥生の鉄」展を機会に訪れた田能遺跡・□酒井遺跡についてま とめた資料の書き出しに両遺跡について下記の解説がある。

「尼崎・伊丹・豊中の境界部にある伊丹空港とその西側を南北に流れる猪名川に挟まれた地域は縄文晩期(または 弥牛早期) 弥牛の始まりから数多くの集落があり、日本各地からやってきた縄文・弥牛系の人たちが交流しつつ、 数多くの水田稲作を進める集落を営んできたという。

土地や水利を巡る争いがあったものの、縄文/弥生系の人たちは交流・混在・共生しながら、水田稲作の社会を築い た関西の先駆け。関西での水田稲作の始まりを解き明かす糸口を提供した口酒井遺跡が今 都市化の波で忘れ去ら れようとしている。」

弥生の新しい時代を切り開いたのは「争い」ではなく、「共生」だったことを示す重要な遺跡である。

「心優しき縄文人 日本の心のふるさと」と私はいつも言うのですが、

この口酒井遺跡が示す「縄文人と弥生人の共生についてもその証」といつも頭にありました。



あれから8年 2020年11月 尼崎市立歴史博物館開設に伴い、博物館と一体となった田能遺跡資料館開設50周年記念特別展「田能遺跡の弥生人」が資料館で開催されているのを知りました。「田能遺跡の弥生人はどのような人たちだったのか?」

周辺の弥生遺跡も含め、人骨や墓にスポットをあてて展示紹介。

弥生の戦さの痕跡が残る勝部遺跡や口酒井遺跡の出土品も展示」という。

是非とも関西での弥生の始まりを示す□酒井遺跡の出土品ならびに縄文/弥生人 共生についての研究の進展を知るまたとない機会。

11月15日 8年ぶりに田能遺跡資料館を訪ねるとともに、周辺の藻川・猪名川土手を歩きました。

□酒井遺跡は住宅や工場の下に埋没。痕跡は地下に眠っていましたが、この8年 周辺もよく整備され、遺跡のすぐ横の河川敷は素晴らしい散策公園に。

猪名川が流れ出る北摂の山々を背景に広がる素晴らしい秋景色。

昔を思い浮かべながら、心地よい散策できました。

■ 関西での稲作の始まりと□酒井遺跡・田能遺跡













かつて 弥生人が縄文人を駆逐して弥生の世が広がっていったと言われたこともありましたが、今 弥生の時代感は大きく変更されている。

弥生のはじめ、現在の伊丹空港周辺はかつて猪名川・淀川河口の広い湿地帯。縄文・弥生の人たちが各地からやってきて、集落を作り、関西で初めて水田稲作を始めたという。それを明らかにしたのが口酒井遺跡の出土品と言われるが、不明な点も多い。今回の田能遺跡特別展では田能遺跡周辺の弥生遺跡から出土した墓と人骨からどんな人達が集まってくらしていたか?を探る特別展渡来系弥生人と縄文人の交流・共生の中で日本列島に水田稲作の弥生時代が広がっていったという。

私にとっては願ってもない特別展。

また、コロナ禍の中で 分断・格差そして競争・同調圧力が益々強まる今の時代

共生・融和・平和の暮らしを眺めるよい機会と。

#### ■ 関西での水田稲作の始まり縄文と弥生の融合を明らかにした□酒井遺跡



縄文晩期(弥生早期)この地で作られた弥生系土器に縄文のデザイン また籾圧痕がついた土器などが出土 8年前の和鉄の道・Iron Road 2013 「水田稲作の始まり縄文と弥生の融合を示す田能・□酒井遺跡を訪ねる」より

#### ■ 田能遺跡と田能遺跡博物館特別展展示概要







田能遺跡博物館特別展展示「田能遺跡の弥生人







特別展の内容は小冊子に展示内容がそのまま写真記録されていたので、各遺跡の人骨調査結果のみを転載。

特別展小冊子をPdf 資料にして添付。紹介に代えさせていただきました。

■【PDF 転載】田能資料館開館 50 周年特別展「田能遺跡の弥生人」小冊子をこの資料の後に添付しています



# photo Album 久しぶりに周辺の猪名川・藻川 walk 2020.11.15.

秋晴れの川ベリの散歩道 解放感一杯 すがすがしく、心地よい







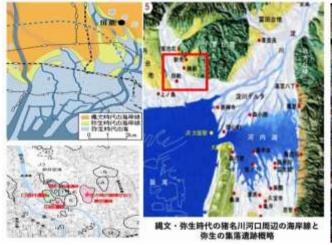


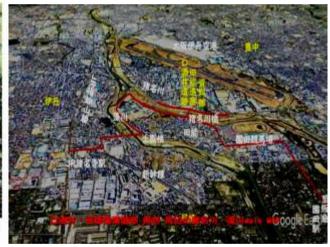












私はいつも「心優しき縄文人日本の心のふるさと」と言いますが、口酒井遺跡や田能遺跡などかつての猪名川河口周辺の弥生遺跡が示す「縄文人と弥生人の共生も」その証。

久し振りにかつての猪名川河口近くの藻川・猪名川周辺を歩き、また、田能資料館特別展「田能遺跡の弥生人」 展でそれが確認できました。 いつも頭にありながら、情報が得られなかった弥生人と縄文人の共生を考え、教 えてもらえた、うれしい一日でした。

ロナ禍が世界的に広がる中 ますます日本・世界とも暮らしは厳しく、自己中心的な「分断・差別・格差」に向かっている。でも人類が幾多の困難を乗り越えて今の繁栄を築くことができたのは人類だけが持つ「相手を思いやる心」だといい、人類の歴史がそれを示している。

決して二者選択の選別・分断・競争などの力ではなかった。

「相手を思いやる心」の発露が「心のやさしさ」「共生・平和」だと。

約8000年の長きにわたる持続社会を作り上げた日本の縄文もその証。

それにもう一つ水田稲作の始まりの「縄文人と弥生人の共生」が加わった。

「心のやさしさ」「相手を思いやる心」が作る平和な暮らしを願う昨今です。

いま、頂点同調圧力の中 考えることを放棄するような短絡的 AI・デジタル化をうたう欺瞞一杯の情報化社会の

流れ。コロナ禍がもたらした新しい時代の生き方をそれぞれが考える一助になればと

また、コロナ禍の中での近隣 walk 西神戸にいる私の足は山や近隣の里に向く毎日。

今回、秋晴れの川ベリの散歩道 解放感一杯 すがすがしい。

うれしい一日を思い浮かべながら、阪急園田駅へのバスに揺られている。

2020.11.15. 夕暮れ 久し振りの市バスも心地良く バスに揺られて Mutsu Nakanishi

#### 参考 未だ収束が見通せぬ 2020 コロナ禍の中で

## 伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 Walk 2020.11.15.

1. 8年前の和鉄の道・Iron Road 2013

「水田稲作の始まり縄文と弥生の融合を示す田能・口酒井遺跡を訪ねる」

https://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1302kuchinosakai.pdf

2. 田能資料館開館 50 周年特別展「田能遺跡の弥生人」小冊子 2020.11 月 https://www.infokkkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanotokubetsuten.pdf

3. 「他人を思いやる心」今一度 そんな視点にも 思いをはせてほしい

https://www.infokkkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211kokoro00.htm

4. 藤尾慎一郎氏の著作「<新>弥生時代 -500 年早かった水田稲作-」を教科書に 弥生時代の鉄と稲作 & 弥生時代の時代感 整理メモ

https://www.infokkkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0209newyayoi00.htm

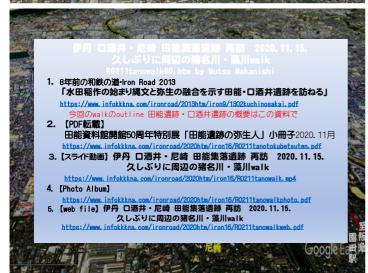


この資料の後に下記の資料を添付しています

- 1. 【写真アルバム】伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 久しぶりに周辺の猪名川・藻川 walk 2020.11.15
- 2. 8 年前の和鉄の道・Iron Road 2013 「水田稲作の始まり縄文と弥生の融合を示す田能・口酒井遺跡を訪ねる」
- 3. 田能資料館開館 50 周年特別展「田能遺跡の弥生人」小冊子 2020. 11 月
- 【スライド動画】**久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk** は下記 和鉄の道 home page アドレス似アクセスください https://www.infokkkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanowalk.mp4

【写真アルバム】伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk 2020.11.15







約8年前2012年12月に田能遺跡資料館で開催された「弥生の鉄」展を機会に訪れた田能遺跡・口酒井遺跡について まとめた資料の書き出しに両遺跡について下記の解散がある。 「尼崎・伊丹・皇中の境界部にある伊丹空港とその西側を南北に流れる着名川に挟まれた地域は縄文晩期(または弥 生早期) 弥生の始までから戦多くの業落があり、日本各地からやってきた縄文・弥生来の人だちが交流しつつ、数多

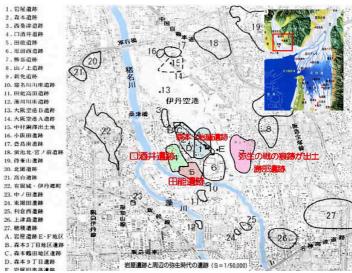
エール がはなからない。 なの水田稲作を進める事務を営んできたという。 土地や水利を巡る争いがあったものの、縄文/弥生系の人たちは交流・混在・共生しながら、水田稲作の社会を築いた 関西の大駅け、関西での水田稲作の始まりを解き明かす糸口を提供した口酒井遺跡が、今都市化の設で忘れ去ら

今回私の一番の興味は籾痕が付いた土器や縄文の特徴を有する口酒井遺跡出土土器の見学と弥生の水田稲作を

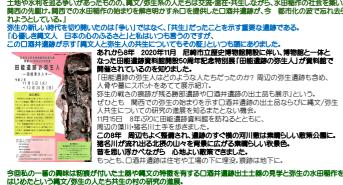
はいめたという縄文/弥生の人たち共生の村の研究の進度。 平地や海を見鳴らす丘なと高台に住み続けてきた縄文人たちが、まだ未開の湿地が続く河口近くに下りて生活する インパクトは水田昭作しか考えられないと思いつつ、今回8年を経て新しい知見が追加されているのか、 興味津々で資料館へ 2020.11.15. by Mutsu Matanishi













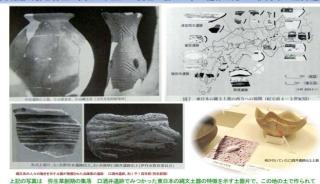
縄文晩期 縄文/弥生の人々が共生して関西で初めて水田稲作を始めた伊丹市口酒井遺跡







#### 縄文晩期 縄文/弥生の人々が共生して関西で初めて水田稲作を始めた伊丹市口酒井遺跡



北上記の写真は 弥生単範順の集落 口酒汁通路でけつかった東日本の縄文土器の特徴を示す土器片で、この地の土で作られていた。 弥生系の人連にはこのような縄文文株を作る技術はなく、東日本の縄文人たちがこの口酒汁通脚に居住していたと考えるべきだという。 そして、このことを手がかりに西日本の各地に同じような東日本の縄文土器が見つかり、この稲作が伝播してゆくこの頃に、東日本から数多くの縄文系の人造が学ていた証拠だという。 また、一方 反対に、東日本では、突然の稲作集落の出現と共に多数の縄文系土器に混じって、弥生系の土器が出土する。 総文の私は「かないない」といる。

8年前の和鉄の道-Iron Road 2013 「水田稲作の始まり縄文と弥生の融合を示す田能・口酒井遺跡を訪ねる」より https://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1302kuchinosakal.pdf

#### 弥生初期 縄文/弥生の人々が共生して水田稲作を営んだ大集 尼崎市田能遺跡



弥生初期 縄文/弥生の人々が共生して水田稲作を営んだ大集 尼崎市田能遺跡









































#### 各遺跡のまとめ

田能遺跡…渡来系と在来系が混在していました。大規模な埋葬施設と豪華な装飾品を身に着けた人物がいました。

勝部遺跡…渡来系と在来系が混在していました。争いの犠牲者の墓があります。

原田西遺跡…方形周溝墓に供えた土器には古い文様のみで装飾された土器が長い間使われていました。これは田能遺跡、 口酒井遺跡とは異なります。方形周溝墓には陸橋があります。

…周辺遺跡で唯一、円形周溝墓が見つかっており、弥生時代の葬送儀礼の一端がわかります。



縄文晚期 口酒井遺跡出土土器 伊丹市教育委員会蔵

壺型土器 縄文晩期 凸带紋深鉢土器 縄文晩期 波状口縁になっている深鉢型土器 縄文晩期 右手前 籾圧痕が付いた浅鉢形土器 縄文晩期





#### 稲作のはじまり

インターネットより 伊丹博物館 常設展示 http://inoues.net/club8/itami\_museum.html



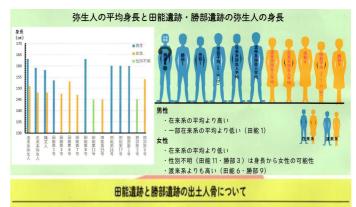
特別展は田能遺跡と共に周辺に存在した弥生の集落遺跡 勝部遺跡・原田西遺跡・口酒井遺跡 7の前後は日時風歌でスペに同辺に守在していませい素色風歌 あいり風歌 10日7日風歌 0月日風歌 0月日風歌 0月日風歌 1日日7日風歌 1日日7日 1日1日 1日日7日 1日1日 1日日7日 1日日7日 1日日7日 1日日7日 1日日7日 1日日7日 1日日7日 1日日7日 1日日 いた様子を明らかに。

私が期待していた縄文晩期(弥生早期)の水田稲作開始の状況ではなく、

他が現時していた機文税財(効果手財)のが田橋下開始のが沈ではなく、 主に田能遺跡が存在した弥生前期・中期の状況の展示。 このかつての猪名川河口に近い平地で縄文・渡来弥生系の人々が暮らし、この地で早くから、 縄文・渡来系の人々が共生して水田稲作を始めたことを示唆する展示。 また一つ「心優しき日本 縄文・弥生人共生」の証でした。

特別展の内容は小冊子に展示内容がそのまま写真記録されていたので、各遺跡の人骨調査結果のみを転載。特別展小冊子をPdf資料にして添付。紹介に代えさせていただきました。
■【PDF転載】田能資料館開館50周年特別展「田能遺跡の弥生人」小冊子2020.11月

https://www.infokkkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanoiseki.pdf



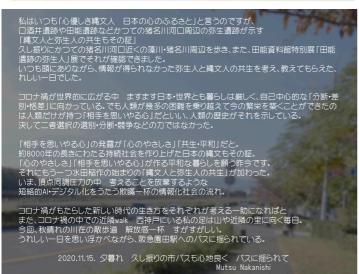
田能第8号・第6号や、勝部第9号のような高身長の人物がいる一方で、田能第7号・15号では歯のかみ合わせ、勝 部第8号では大腿骨に柱状突起をもつなど縄文人の特徴をもっていた人がいます。近畿地方では、在来系弥生人と渡来系 弥生人が混在しているとの研究結果もあり、田能遺跡と勝部遺跡もこのような状況を示していることがわかります。





















「水田稲作の始まり縄文と弥生の融合を示す田能・口酒井遺跡を訪ねる」

# 「水田稲作の始まり縄文と弥生の融合を示す田能・口酒井遺跡を訪ねる」

#### 猪名川東岸と伊丹空港にはさまれた猪名川の河口域

2012. 12. 21.

弥生時代の初め、数多くの集落があり、縄文系の人達との交流があったという

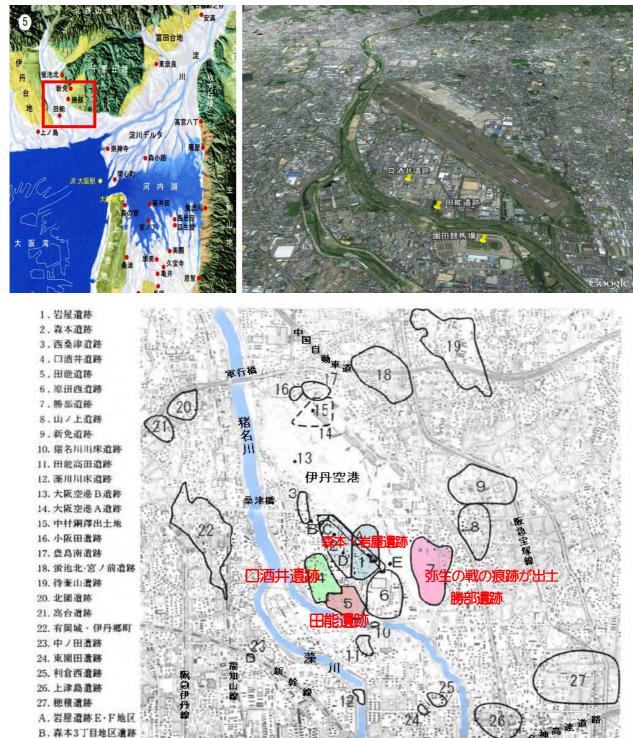


図1 岩屋遺跡と周辺の弥生時代の遺跡 (S=1/50,000)

昨年の 12 月 尼崎・伊丹・豊中の境界部にある伊丹空港。この空港と西側の猪名川に挟まれた狭い地域には かつて、縄文 晩期から弥生時代にかけて数多くの集落があり、日本各地からやってきた縄文・弥生系の人達が交流したという。

土地・水利をめぐる弥生の戦はあったが、縄文/弥生系の人達は交流・混在・融合しながら、水田耕作の弥生社会を作り上げたという。こんなことを解き明かす糸口を提供した口酒井遺跡が今都市化の波の中で忘れ去られようとしている。

田能遺跡で「弥生の鉄」の展覧会があるのを機会にこの田能遺跡とすぐ近く口酒井遺跡を訪ねました。

C. 森本鶴田地区遺跡 D. 森本 9 丁目遺跡 E. 岩屋旧集落遺跡 「鉄」を考えるとき、いつも頭の片隅をかすめる「弥生の戦」

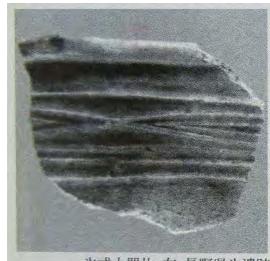
「森の民縄文人は水田耕作の弥生人によって追い払われたのか???」

平和な時代縄文から弥生の時代へ 「弥生の戦は鉄が日本に持ち込まれた為なのか???」

「各地で弥生の戦は起こったが、弥生人と縄文人が対峙し、戦った」という構図はなく、むしろ集落に、飛び込んできた縄文 系 弥生系の人達と一緒に生活し、それぞれの文化・技術を融合して行ったという。

NHK 出版「日本人はるかな旅 第5巻 そして"日本人が生まれた"」によれば、

弥生早期頃、東日本の縄文系の人達がたこの大阪湾沿岸のこの地にやってきて、在来の人達と一緒に生活していたことを初めて解き明かしたのが、口酒井遺跡集落だという。





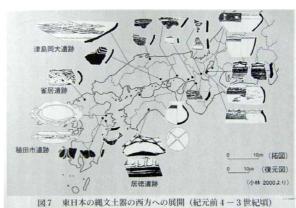
氷式土器片。左·長野県氷遺跡出土。右·兵庫県口酒井遺跡出土[伊丹市教育委員会]

#### 縄文系の人々の動きを示す土器が発掘された兵庫県の遺跡 口酒井遺跡。約2千3百年前(弥生前期)

上記の写真は 弥生草創期の集落 口酒井遺跡でみつかった東日本の縄文土器の特徴を示す土器片で、この地の土で作られていた。 弥生系の人達にはこのような縄文文様を作る技術はなく、東日本の縄文人たちがこの口酒井遺跡に居住していたと考えるべきだという。 そして、このことを手がかりに西日本の各地に同じような東日本の縄文土器が見つかり、この稲作が伝播してゆくこの頃に、東日本から数多くの縄文系の人達が来ていた証拠だという。

また、一方 反対に 東日本では、突然の稲作集落の出現と共に多数の縄文系土器に混じって、弥生系の土器が出土する。 縄文系の村に弥生系の人が入り込んで、稲作文化が伝播していったという。





そんな 縄文と弥生の人達の交流・文化融合を始めて解き明かしたのが、口酒井遺跡だという。 このような縄文系・弥生系の人達の融合による日本人の形成については日本人のDNA分析からも明らかになっている。

口酒井遺跡は私には重要な遺跡に見えるのですが、阪神間にいてもこの遺跡の場所を知る人は少なく、忘れかけられている。 私も伊丹空港の西側の猪名川周辺と聞くだけでよく判りませんでした。

田能遺跡には立派な資料館があるので、今回 資料館で教えてもらって現地に行ってこようと。

#### 縄文人と弥牛人の融合 和鉄の道 2006.10 月 弥生の高地性集落に「弥生の戦さ」・「日本人のルーツをさがして」より

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/6iron14.pdf

#### 1. 混血の進行

渡来的形質とされる顔の高さ、眼窩の高さ、梨状孔(鼻の部分の孔)の細長さを示す 示数を軸にとって古墳人をみてみると、梨状孔は九州内では筑前から離れるほど横広に なり、本州では北部九州と近畿・山陰を細長さの二つのピークとして中部瀬戸内が谷間 のようになっているのがわかる。

また、関東・東北も同様な値であり、近畿からの流れで理解できる。

ところが、顔の高さは、九州内では南九州を除くとそう大差はない。 しかし、本州では梨状孔と同じく北部九州と近畿・山陰をピークとして中部瀬戸内が谷 間のように低い。

逆に、眼窩の高さをみると、九州内では筑前と他の地域に差があり、本州では山陰・近 継が高い値を示すものの大差はない。

また、関東・東北の古墳人は顔の高さも眼窩も高い値を示しており、北部九州の弥生人・ 古墳人とほぼ同じである点は注目される。



日本列島における稲作・弥生文化の東進 歴博藤尾らによって 最近の年代測定により弥生時代は500年遡ると提案 従来の縄文晩期後半を弥生時代 早期と呼ばれることが多くなっている。 黒字はその新年代提案



#### 弥生の遠賀川式土器と縄文土器の共存

板付遺跡などを含め、福岡県 遠賀川下流域は弥生農耕文化発祥地のひとつに挙げられています。北部九州で始まった農耕 文化は東日本に伝播して行きますが、農耕文化と共に遠賀川式土器も東進し、農耕開始期の指標とされています。一方 東 国の縄文土器が西日本各地で見られる。

これは、東の縄文人が積極的に西日本の渡来系弥生集落で共存し、農耕文化を習得していった証と見られている。





このような事 象から縄文人 と弥牛人が同

じ地域の中で共存・融合しながら、水田稲作を中心とする弥生の文 化が花開く。

それが さらには 新しい耕地・水利をめぐる集落間・地域間の争 いをめぐって、集落内での地位格差 地域・集落間の格差を生み、 争いに備える体制 環濠集落・高地性集落そして国へと発展してい ったと考えられている。

#### 尼崎市田能谱縣 近畿の弥生時代ほぼ全期間に及ぶ大集落跡で九州北部特有の甕・壷棺墓4基出現









田能遺跡は、尼崎市の東北端、標高 7m、猪名川左岸に営まれた弥生時代(2300-1700 年前) の集落跡です。遺跡は東西約 110m、南北 120m以上の広さがあります。弥生時代は我が 国で稲作農耕が始まった時代で、田能の弥生人たちも川沿いのやや高いところに溝をめぐらし、住居を造り、低湿地で水田をつくったようです。遺跡は長期間にわたり生活の 場 となったため、家の柱穴、ゴミ捨て穴、貯蔵の穴、排水の溝など多数の遺構がありました。人々の生活した竪穴住居も3棟が明らかになっています。また、ここは墓地としても つかわれ、木棺墓8基、土こう墓5基、壺・甕棺墓4基が発見されました。

遺跡の発掘は昭和 40 年の工業用水道の配水建設現場から、大量の弥生式土器が発見された事にはじまる。その後約1年間にわたる調査の結果、弥生時代前期から古墳時代中期 にわたる大集落跡であることが確認された。この遺跡でもっとも注目される遺構は、墓と、それに伴う埋葬の状況であった。それまで近畿地方では、弥生時代の墓の発見例は少 なく、その実体はほとんど不明のままであった。ここでは、木棺墓8、土こう墓5、壺棺墓3、甕棺墓1の計17基の墓が発見された。うち15基は1つのグループに、残り2 基はそれらとは離れた場所に埋葬されていた。調査の結果、壺・甕を棺に利用した壺棺・甕棺墓、遺骸の埋葬可能な程度に掘り窪めた土こう墓、厚い板を組み合わせた木棺墓の 3種類の埋葬方法が明らかになった。残存した人骨によって、壺・甕が子供や乳幼児の埋葬に用いられたこと、土こう墓には木の蓋が存在していたこと、木棺には高野槇か中国

産の木が使用されていたことなどが確認されている

木棺墓に埋葬されていた男性のうち2体には、 623 個以上の碧玉製管玉を装着した遺体と、左腕に白銅製釧(くしろ:腕)をした遺体も発見された。上半身には朱が施 されており、この2基だけが明らかに特別扱いされている。ムラの首長クラスだった事をうかがわせる。

これらの埋葬方法のうち、特に壺棺・甕棺などは当時北九州で盛んに用いられた埋葬方式である。

言い換えると この田能遺跡が弥生時代の初期から機能していたことを考えると「縄文系弥生人の集落が渡来系弥生人の農耕を学び 九州からやって来た渡来系弥生人 と融合しつつ この集落を弥生の中心集落に発展させていった」田能遺跡の弥生の墓群は縄文系弥生人と渡来系弥生人融合を示すモニュメントであるかもしれない。

#### 1. 大阪湾の海岸部 猪名川河口周辺 弥生の大集落 田能遺跡 へ

田能遺跡は尼崎市の北東端、尼崎市田能字中ノ坪(現在の田能 6 丁目) 猪名川左岸に接する標高約 6 mの沖積平野にあり、昭和 40 年 9 月尼崎・西宮・伊丹三市共同の工業用水配水場の工事現場で大量の土器が発見されたことがきっかけとなり、その後 1 年間にわたり発掘調査が行われ、弥生時代の全期間にわたる大集落跡で、国の史跡に指定されている。

住居のほかそれまで不明であった近畿地方弥生時代の墓制を明らかにした木棺墓、土壙墓、壺・甕棺墓などの墓が発見。 木棺墓の中には碧玉製管玉の首飾りや白銅製の腕輪を身につけた特別な扱いをうけていたと思われる人物の墓がありました。

発掘された遺構は地下に保存された後、全面に土盛りし植 栽を施し、屋外には住居や高床倉庫などを復元し、出土し た資料は資料館で公開している。





尼崎が故郷の私には、当時センセーショナルに発掘が伝えられたのを覚えている。

もっとも、田能遺跡が尼崎の北東端で 伊丹・豊中・尼崎の境で尼崎の交通網から外れて便利が悪く、園田の競馬場の北側と認識。市バスが通っているのですが、本数も少なく見学に行ったのは随分後である。

今回もやっぱり自分の良く知った道 阪急塚口駅から市バスに乗って、園田競馬場横の田能口で下車して 田能の集落を北にぬけて、猪名川の土手に出て、対岸へ渡れば田能遺跡である。

この道しか知らなかったのですが、猪名川の土手に立って北を見ると川の北西岸に福知山線伊丹駅周辺のショッピングセンターが見える。最近 伊丹に住む娘一家を訪ねて伊丹周辺の事情がわかってき手、これだったら福知山線の猪名寺駅や伊丹駅から行った方がはるかに便利。 バスの便を考えると帰りは伊丹から帰りました。



猪名川の西岸猪名川橋周辺から東岸口酒井地区 工業用水配水場・田能遺跡を眺める 2012.12.21. 東岸の工場・住宅群の中に口酒井遺跡・田能遺跡 これらの後ろが伊丹空港である 猪名川の東岸に沿う共同工業用水排水場と田能遺跡資料館の森までが田能遺跡

このあたりは、弥生時代には 猪名川・淀川が注ぎこむ大阪湾の海岸近くの平野部で、この周辺には数多くの弥生の集落があ った。 岸に立って東を眺めると ひっきりなしに伊丹空港から北へ飛び立ってゆく飛行機が見える。

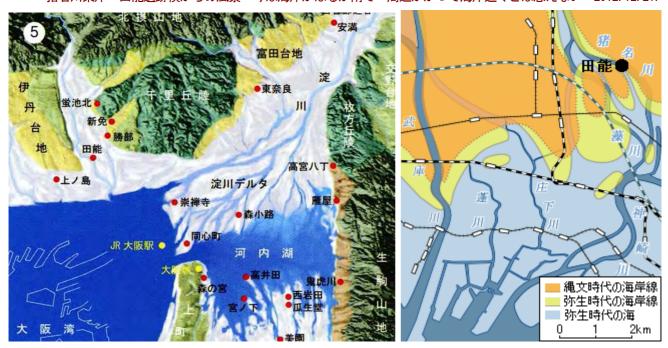






猪名川 上流側 伊丹の市街地が見えている

猪名川の下流側 尼崎園田地区 猪名川東岸 田能遺跡横からの風景 今は海岸がはるか南で 周辺がかつて海岸近くとは思えない 2012.12.21.



#### 弥生の大集落 田能遺跡













田能遺跡資料館の門を入ると 資料館の前から南側に田能遺跡の竪穴住居などが復元した公園として整備されていました。 発掘された遺構はそのまま埋め戻して保存し、その上に盛土して竪穴住居・方形集溝・高床敷き倉庫などを復元展示されている。 それにしても この遺跡が出土した頃の報道・熱気からすると復元地が非常にせまいなぁ・・・と。 入口にあった案内板によると田能遺跡資料館が建っている北側の工業用水ポンプ場が建っている場所全体も田能遺跡の発掘調査された場所であると知れる。やっぱり 田能遺跡全体の広さを眺めるには 猪名川の土手に登って眺めないと全体が見えない。また、google 写真から鳥瞰するのが、一番かも知れぬ。













田能遺跡資料館の北側 猪名川沿いの工業用水配水場 ここも全体が田能遺跡の一部である 2012.12.21.

#### 2. 田能遺跡資料館「弥生の鉄 石器から鉄器へ」展示



縄文時代から弥生時代への大きな変化として、本格的な米づくりの開始と青銅器や鉄器などの金属器が伝わったことが挙げられる。 特に、鉄器が伝わる前は石の道具≪石器≫が使われていましたが、鉄の堅くて切れ味が鋭いという利点から、次第に石器から鉄 器へと移り変わっていったと考えられている。今回の展示では、弥生時代の近畿地方において、どのような種類の鉄器があり、どの ようにつくられ、どのように使われていたのかを紹介。現在では欠かせないものとなった鉄が、日本に伝わったころの様子に迫る。

「弥生の鉄 石器から鉄器へ」パンフレットより

# 第42回尼崎市立田能資料館特別展





星丘遺跡鉄器及び鉄片(左)と鉄器づくりに使用した可能性のある石器(右) 所 蔵 牧力市教育委員会 写真提供、大阪仲立弥生文化博物館

#### ≪展示構成≫

#### 1 五斗長垣内遺跡と弥生時代の鉄器生産遺構

鉄器の生産には、とても高度な技術が必要でした。そのため、弥生時代の近畿地方では、鉄器づくりをおこな えたムラは少なかったと考えられています。このようなムラの1つで、近年発見され、このたび国の史跡に指定 される見通しとなった兵庫県淡路市・五斗長垣内遺跡を中心に、近畿地方の鉄器生産の遺構について紹介し、金 属が伝わったころの鉄器づくりをひもときます。

#### 2 鉄器の登場

兵庫県内の、確実な例としては最古級の鉄器である、神戸市新方遺跡の鋳造鉄斧片 (弥生時代中期中ごろ) などを紹介し、いつごろ近畿地方に鉄器が伝わったかを紹介します。

#### 3 さまざまな鉄器

弥生時代の鉄器は、鉄鏃を除けば、鉄斧や鉄鉋などの工具として一般に広まっていったと考えられています。 弥生時代のさまざまな鉄器と、その使い方について解説します。

#### 4 鉄器のつくり方

弥生時代の近畿地方の鉄器生産は、まだ未成熟なものでした。つくり方のわかる鉄器などから、近畿地方を中心とした鉄器づくりの方法を紹介します。

#### 5 見えざる鉄器について

弥生時代後期には多くの鉄器が存在していましたが、溶かして再利用されたり腐蝕によって多くが失われたり したため鉄器が見つからないという説が、いわゆる「見えざる鉄器」論です。弥生時代後期の遺跡から石器がほと んど見つからないことも、鉄器が普及した証拠の1つとされてきました。

弥生時代後期には近畿地方にどのくらい鉄器が広まっていたのでしょうか。尼崎の石器から考えます。

#### ≪主な展示品≫

- · 兵庫県五斗長垣内遺跡 鉄器 鉄片 石器 (兵庫県指定文化財)
- 兵庫県内場山墳丘墓袋状鉄斧鉄鉋(兵庫県指定文化財)
- · 兵庫県半田山1号墳丘墓 鉄剣 (兵庫県指定文化財)
- 大阪府星丘遺跡 鉄器 鉄片 石器
- ·大阪府鬼虎川遺跡 鉄鏃 鉄鑿(大阪府指定文化財)
- 大阪府古曽部・芝谷遺跡 板状鉄斧 鉄鉋 刀子
- ・兵庫県奈カリ与遺跡 板状鉄斧 鉄鏃
- 兵庫県雲井遺跡 鉄鉋
- · 兵庫県新方遺跡 鋳造鉄斧片
- 大阪府亀井遺跡 鉄鏃 板状鉄斧 鉄鑿
- 大阪府崇禅寺遺跡素環頭大刀片
   その他約300点を展示



雲井遺跡鉄鉋 所 歳 神戸市教育委員会 写真提供: 同 上







ゆう

#### テーマ1 五斗長垣内遺跡と弥生時代の鉄器生産遺構

- 板状鉄斧レプリカ/五斗長垣内遺跡/弥生時代後期
- 鉄器および鉄片/五斗長垣内遺跡/弥生時代後期
- 石製工具/五斗長垣内遺跡/弥生時代後期
- · **鉄器および鉄片**/星丘遺跡/弥生時代後期
- 石製工具/星丘遺跡/弥生時代後期/

#### テーマ2 鉄器の登場

- 鋳造鉄斧片/新方遺跡/弥生時代中期中ごろ
- ・ 鉄鏃/居住・小山遺跡/弥生時代中期中ごろ
- ・鉄やりがんな/戎町遺跡/弥生時代中期中ごろ

#### テーマ3 さまざまな鉄器

- ・ 鉄鏃/奈カリ与遺跡/弥生時代中期後半
- 鉄鏃/表山遺跡/弥生時代中期末~後期前半
- 板状鉄斧(兵庫県指定文化財)/有鼻遺跡/弥生時代中期後半
- 板状鉄斧/古曽部•芝谷遺跡/弥生時代後期前半
- · **袋状鉄斧**/ 亀井遺跡/弥生時代後期後半
- 袋状鉄斧(兵庫県指定文化財)/内場山遺跡/弥生時代終末期

- ・鉄やりがんな/雲井遺跡/弥生時代中期後半
- ・鉄やりがんな/芝花弥生墓群/弥生時代後期前半
- 鉄鑿/七日市遺跡/弥生時代後期
- 鉄鏨/亀井遺跡/弥生時代後期後半
- · **鉄製刀子**/古曽部·芝谷遺跡/弥生時代後期前半
- 鉄製刀子レプリカ/田辺天神山遺跡/弥生時代後期後半
- ・ 鉄剣レプリカ/有鼻遺跡/弥生時代中期後半
- · 鉄剣(兵庫県指定文化財)/半田山1号墳丘墓/弥生時代後期
- · **素環頭大刀片**/崇禅寺遺跡/弥生時代終末期~古墳時代初頭

#### テーマ4 鉄器のつくり方

- 板状鉄斧/瓜生堂遺跡/弥生時代中期後半
- ・ 鉄鏃/鬼虎川遺跡/弥生時代中期前半~中ごろ
- ・鉄のみ/鬼虎川遺跡/弥生時代中期前半~中後ろ
- ・ テーマ 5 見えざる鉄器について
- 弥生時代前期の石器/上ノ島遺跡
- 弥生時代中期の石器/武庫庄遺跡
- 弥生時代後期の太型蛤刃石斧/中ノ田遺跡

田能遺跡資料館の「弥生の鉄 石器から鉄器へ」展では、兵庫県や大阪の大阪湾周辺の弥生の集落遺跡から出土した実用鉄器が数多く展示されていました。 鉄器の展示というとすぐに古墳から出土する威信材 武器・武具が中心になるのですが、古墳時代前の弥生時代 実際に使われた実用鉄器が数多く並べられていて、その使い方や鉄器技術の進歩などが丁寧に解説されていた。 展示の目玉は国内最大級の鍛冶工房村 淡路島五斗長垣内遺跡から出土した鉄器 兵庫県で一番古い鉄器 神戸新方遺跡の鋳造鉄斧や高地性集落 神戸表山遺跡野鉄鏃 そして尼崎 上ノ島遺跡や武庫庄遺跡の石器も。

尼崎の鉄器というと古墳時代 畿内の鍛冶工房群のさきがけとなった若王寺遺跡があるのですが、

古墳時代の遺跡のため、展示がありませんでした。

また、芦屋の高地性集落会下山遺跡は最近の発掘で大規模な鍛冶工房があったといわれていますが、

まだ 評価が確立していないのか 展示がありませんでした。

また、「幻の鉄器」の時代と呼ばれる弥生時代の後期 大阪湾周辺では石器の出土が急激に減少し、鉄器の普及が進んだといわれるのですが、なぜか鉄器の出土がなく「幻の鉄器」の時代と呼ばれる。

この「幻の鉄器」の存在については 研究者によって意見が分かれているのですが、

本展示では「鉄器は普及したが、貴重品として再利用されたか、土の中で腐食してなくなったために

出土しない」との考えにもとづく展示がなされていました。

この件について 私は「幻の鉄器」の存在には疑問を持っているのですが、実用鉄器の普及してゆくプロセス・鍛冶技術の進歩や大陸・朝鮮半島との交流など 次の古墳時代への時代アプローチとして重要な課題を提供。

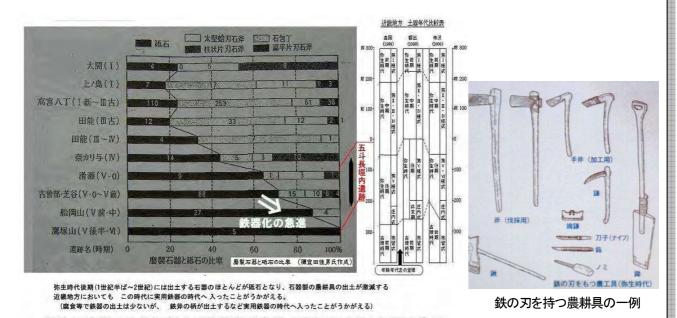
兵庫県暦博のシンポ 五斗長垣内遺跡出のシンポでも話題になりましたが、今回の展示でも その根拠について 新しい論拠 は示されていませんでしたが、重要なテーマであろう。

#### 【参考】和鉄の道 2011

近畿 弥生時代後期 淡路島に西日本最大級の鍛冶工房村が現れた時代の2・3世紀

「鉄器は出土しないが、急速な鉄器化が進行したという「幻の鉄器」の時代があった」という考えには疑問符

http://www.infokkkna.com/ironroad/2011htm/iron7/1103iron00.htm



弥生の後期 近畿地方での鉄器需要急増の変化を示出土石器の急変 [禰宜田佳男氏作成資料を基に整理して本図作成]

「鉄器は腐食で土に帰ってゆくため出土しないが、鉄器の木製の柄が多数出土する 」 「石器出土数に対する砥石数が急速増加。石器が減少し、鉄器の研磨が急速増加したことが推定される 」との考え方

兵庫県・大阪湾沿岸の弥生時代の実用鉄器を集めた展覧会 小さな特別展でしたが、数多くの実用鉄器に出会えて ラッキーでした。 また、この弥生時代の鉄器の展開にこの猪名川の川岸に存在した弥生遺跡群の役割が 加えられればもっと良かったのになぁ・・・と。

#### 3. 東日本の縄文系の人が一緒に暮らしていた弥生の集落 ロ酒井遺跡 約2千3百年前(弥生前期)。

縄文系の人々の動きを示す土器が発掘された兵庫県の遺跡

田能遺跡資料館で「口酒井遺跡」へ行きたいのですが、位置を教えてくださいと訪ねると「この田能遺跡のすぐ、北側の工場街の中で、確か伊丹の埋蔵文化財センターの分室が建っているはず。行ったことがないので、正確な位置はわからぬ」と色々

電話をかけていただいた。

「重要な弥生遺跡で国の史跡の指定 を受け、史跡公園にすると聞いている が、動いた形跡はないなぁ」とも。

電話で伊丹市に場所を聞いていただいたり、色々してもらったのですが、「目標がないので 教え方難しい」と。「この資料館のすぐ北東のところで、案内板も何もないが、埋文センターの建物がある」と教えていただいて、すぐそこなので 一筋ずつ調べてもすぐ行けると歩き出す。





田能遺跡の横 猪名川の土手から 北摂の山並を眺める 左端が宝塚 2012.12.21.

猪名川の土手を北へ 橋の向こうに JR 伊丹駅のショッピングセンターが見え、ここからだと伊丹駅へ出るのが一番便利が

良いと知れる。 土手から東側に広がる口酒井地区の工場街へ入ってゆく道を探しながら歩き出す。 かつては猪名川東岸の荒地だったのでしょうが、北端に口酒井の集落・住宅地があり、その手前には小さく区分けされて、町工場がびっしり詰まっている。



土手から眺める口酒井地区の工場街 この工場街のあたりが口酒井遺跡

土手から直角にまっすぐ東へ入る道を 見つけて、口酒井地区へ入ってゆく。 住宅の角先にいる人に、「このあたりで、 発掘調査していた遺跡を教えて」と聞く とすぐに「まっすぐ行って 突き当りを 北に折れたところ 変電所の横だ」とす ぐわかった。「あぁそうか こんなに沢 山の送電鉄塔が渡っていくのは 変電 所があるから」。



田能遺跡からゆっくり、15 分ほどで、工場街の真ん中にある変電所と金網で囲まれた草地が見え、草地の端に「伊丹市埋文口酒井整理事務所」の看板の上がった建物があり、ここが弥生の初め、東日本からやってきた縄文系の人達が、農耕を始めた弥生の人達と暮らした口酒井遺跡と知れた。







口酒井遺跡 伊丹埋分事務所と変電所がある通り 2012.12.21.



口酒井遺跡 北西端から 2012.12.21.







猪名川土手 東へ入る 口酒井地区への入口 2012.12.21.

#### 【参考資料】

- 1. 和鉄の道 2006.10 月 弥生の高地性集落に「弥生の戦さ」・「日本人のルーツをさがして」 http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/6iron14.pdf
- 2. 和鉄の道 2011 近畿 弥生時代後期 淡路島に西日本最大級の鍛冶工房村が現れた時代の2・3世紀 「鉄器は出土しないが、急速な鉄器化が進行したという「幻の鉄器」の時代があった」という考えには疑問符 http://www.infokkkna.com/ironroad/2011htm/iron7/1103iron00.htm
- 3. NHK 出版「日本人はるかな旅 第5巻 そして"日本人が生まれた"」
- 4. 田能遺跡資料館 特別展「弥生の鉄 石器から鉄器へ」パンフレット
- 5. 「糸糸 海」30巻 伊丹文化財保存協会

#### 【参考添付資料】

# 第42回尼崎市立田能資料館特別展



特に、鉄器が伝わる前は石の道具《石器》が使われていましたが、鉄の固くて切れ味が鋭いという利点から、次第に石器から鉄器へと移り変わっていったと考えられています。

今回の展示では、弥生時代の近畿地方において、どのような種類の鉄器があり、どのようにつくられ、 じのように使われていたのかを紹介します。現在では欠かせないものとなった鉄が、日本に伝わったころの様子に泊ります。

# 金属の腕輪をつくろう 11月23日(金·祝) 午後1時~午後4時

定員20人(小学生以下の方は保護者同伴) 材料費700円 【田能資料館Eメールか電話でお申し込みください】 必要事項 住所・氏名・電話番号・年齢 (学校に通われている方は学校名と学年も)

Eメール: ama-tanosiryokan@city.amagasaki.hyogo.jp でんわ: 06-6492-1777 (田能資料館開館時のみ) 申込期限 11月15日(木) まで

※応募者多数片の場合は抽選し、結果は11月16日(金)に連絡します。

展示解説会

当館学芸員が解説します

11月18日(日)・12月8日(土)・1月19日(土) いずれも午後1時から

無料 申し込み不要 当日直接展示会場へ

でんじ きかん 展示期間

# 平成24年 11月10日(土) ~ 平成25年 1月20日(日)

展示場所

尼崎市立田能資料館

展示・学習室

〒661-0951 兵庫県尼崎市田能6-6-1 TEL/FAX:06-6492-1999 入館料:無 開館時間:午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休 館 日:月曜日(月曜が祝休日の場合は直後の平日),年末年始 (12月29日~1月3日)

尼崎市公式ホームページから「田能資料館」を検索、または http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/gakusyu/index.html

尼崎市教育委員会 主催

# 第42回尾崎市文田能資料館特別展





星丘遺跡鉄器及び鉄片(左)と鉄器づくりに使用した可能性のある石器(右) 所 蔵: 枚方市教育委員会 写真提供: 大阪府立弥生文化博物館

#### ≪展示構成≫

#### 1 五斗長垣内遺跡と弥生時代の鉄器生産遺構

鉄器の生産には、とても高度な技術が必要でした。そのため、弥生時代の近畿地方では、鉄器づくりをおこな えたムラは少なかったと考えられています。このようなムラの1つで、近年発見され、このたび国の史跡に指定 される見通しとなった兵庫県淡路市・五斗長垣内遺跡を中心に、近畿地方の鉄器生産の遺構について紹介し、金 属が伝わったころの鉄器づくりをひもときます。

#### 2 鉄器の登場

兵庫県内の、確実な例としては最古級の鉄器である、神戸市新方遺跡の鋳造鉄斧片(弥生時代中期中ごろ)などを紹介し、いつごろ近畿地方に鉄器が伝わったかを紹介します。

#### 3 さまざまな鉄器

弥生時代の鉄器は、鉄鏃を除けば、鉄斧や鉄鉋などの工具として一般に広まっていったと考えられています。 弥生時代のさまざまな鉄器と、その使い方について解説します。

#### 4 鉄器のつくり方

弥生時代の近畿地方の鉄器生産は、まだ未成熟なものでした。つくり方のわかる鉄器などから、近畿地方を中心とした鉄器づくりの方法を紹介します。

#### 5 見えざる鉄器について

弥生時代後期には多くの鉄器が存在していましたが、溶かして再利用されたり腐蝕によって多くが失われたり したため鉄器が見つからないという説が、いわゆる「見えざる鉄器」論です。弥生時代後期の遺跡から石器がほと んど見つからないことも、鉄器が普及した証拠の1つとされてきました。

弥生時代後期には近畿地方にどのくらい鉄器が広まっていたのでしょうか。尼崎の石器から考えます。

#### ≪主な展示品≫

- •兵庫県五斗長垣内遺跡 鉄器 鉄片 石器(兵庫県指定文化財)
- · 兵庫県内場山墳丘墓 袋状鉄斧 鉄鮑 (兵庫県指定文化財)
- · 兵庫県半田山1号墳丘墓 鉄剣 (兵庫県指定文化財)
- ·大阪府星丘遺跡 鉄器 鉄片 石器
- ·大阪府鬼虎川遺跡 鉄鏃 鉄鑿 (大阪府指定文化財)
- ·大阪府古曽部·芝谷遺跡 板状鉄斧 鉄飽 刀子

- ・兵庫県奈カリ与遺跡 板状鉄斧 鉄鏃
- · 兵庫県雲井遺跡 鉄鉋
- 兵庫県新方遺跡 鋳造鉄斧片
- · 大阪府亀井遺跡 鉄鏃 板状鉄斧 鉄鑿
- 大阪府崇禅寺遺跡素環頭大刀片

その他約 300 点を展示



雲井遺跡鉄鉋 所 蔵:神戸市教育委員会 写真提供: 同 上



亀井遺跡鉄鏃所 蔵: (公財)大阪府文化財センター 写真提供: 大阪府立弥生文化博物館



崇禅寺遺跡素環頭大刀片 所 蔵 大阪府教育委員会 写真提供 大阪府立弥生文化博物館



#### ●電車とバス

- ・阪急園田駅から 尼崎市バス20・21・21-2・22系統 「田能口(たのうぐち)」バス停下車後、北へ徒歩15分
- J R 猪名寺駅から 尼崎市バス20系統 「田能口」バス停下車後、北へ徒歩15分
- ・**阪神尼崎駅から** 尼崎市バス22系統 「田能口」バス停下車後、北へ徒歩15分
- ●お車 駐車場あり(無料)
  - · 名神高速豊中インターより北西約3km
  - ・阪神高速豊中南出口より北西約3km

3.

## 田能資料館開館50周年記念特別展「田能遺跡の弥生人-田能家の人々-」展示紹介冊子

2020.11.15. 田能遺跡資料館で

田能遺跡の弥生人はどんな人だったのか? 周辺の遺跡を含め、出土人骨や墓にスポットライトを当てて検討

田能遺跡出土第1号幕▶

尼崎市立歴史博物館田能資料館 開館50周年記念特別展

田能遺跡の弥生人

一田能家の人々一

令和2年 11月3日(火) ~ 12月20日(日)

# はじめに

弥生時代には大陸から渡ってきた人々によって、 米づくりや金属器、機織りなど新しい文化が伝えら れました。彼らは、従来から日本に住んでいた人々 と混血していったと考えられています。

大陸の人々の特徴を持った渡来系弥生人は、面長 で平坦な顔立ちをしており、身長は高く、一方、在 来系弥生人は、顔は短くてほりが深く、身長は低い という縄文人の特徴を持っていました。

では、田能遺跡の弥生人はどのような人々だった のでしょうか?遺跡から出土した人骨や墓にスポッ トをあて、田能遺跡の弥生人と近隣の弥生遺跡との 関係について考えます。

展示に際して、次の機関から貴重な資料をお借りしました。 記して御礼申し上げます。

伊丹市教育委員会

豊中市教育委員会

兵庫県立考古博物館

人間文化研究機構国立歷史民俗博物館

また、人骨の計測にあたり次の機関より計測具をお借りしました。 記して御礼申し上げます。

岡山理科大学生物地球学部環境考古学・古生態人類学研究室



# 展示解説会と

「弥生時代のアクセサリーをつけよう」 11月8日(日)、11月22日(日)、12月12日(土)

> いずれも午後1時30分から 申し込み不要。

検温、マスク持参の上、当日会場にお越しください。

※今後の朝型コロナ感染状況によりやむをえず中止となる場合があります。 ※資料館 HP にてお知らせいたします。

田能資料館

〒661-0951 兵庫県尼崎市田能 6-5-1 休館日:月曜日 (月曜日が祝休日の場合は開館し直後の平日を休館) TEL / FAX 06-6492-1777

http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/104ama\_tano/index.html

主催:尼崎市教育委員会

#### 参考挿入 田能遺跡・口酒井遺跡周辺 かつての猪名川河口域に営まれた弥生時代の遺跡図

和鉄の道 • Iron Road 2013「水田稲作の始まり 縄文と弥生の融合を示す田能 • 口酒井遺跡を訪ねる」より https://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1302kuchinosakai.pdf

2020.11.20. by Mutsu Nakanishi 挿入

#### 猪名川東岸と伊丹空港に挟まれたかつての猪名川河口域。弥生時代の初め、弥生系と縄文系の人達が交流する数多くの集落があった

尼崎・伊丹・豊中の境界部にある伊丹空港と西側の猪名川に挟まれた狭い地域には かつて、縄文 晩期から弥生時代にかけて 数多くの集落があり、日本各地からやってきた縄文・弥生系の人達が交流したという。

土地・水利をめぐる弥生の戦はあったが、縄文/弥生系の人達は交流・混在・融合しながら、水田耕作の弥生社会を作りげたという。 こんなことを解き明かす糸口を提供した口酒井遺跡が今、都市化の波の中で忘れ去られようとしている。

2012年12月 田能遺跡で「弥生の鉄」の展覧会があるのを機会に この田能遺跡とすぐ近く口酒井遺跡を訪ねました。

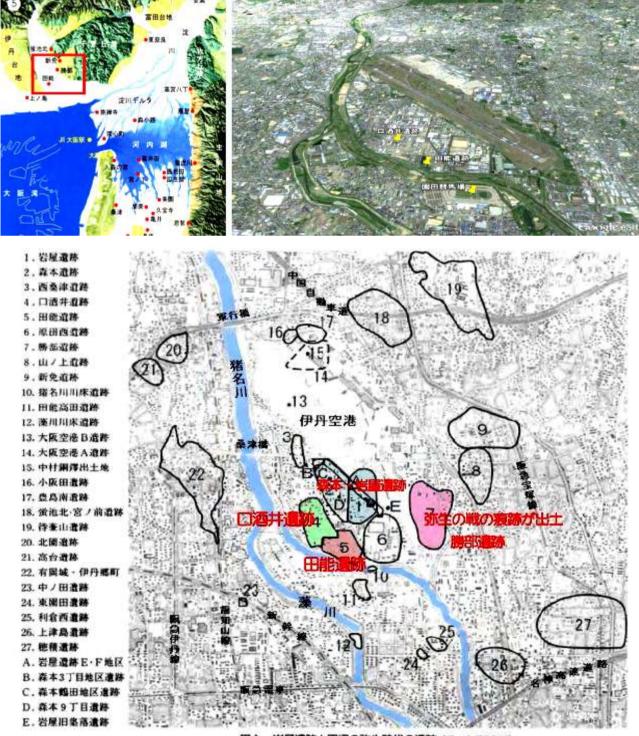
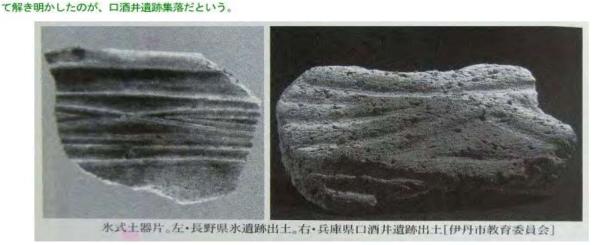


図1 岩屋遺跡と周辺の弥生時代の遺跡 (S=1/50,000)

NHK 出版「日本人はるかな旅 第5巻 そして"日本人が生まれた"」によれば、 弥生早期頃、東日本の縄文系の人達がたこの大阪湾沿岸のこの地にやってきて、在来の人達と一緒に生活していたことを初め



縄文系の人々の動きを示す土器が発掘された兵庫県の遺跡 口酒井遺跡。約2千3百年前(弥生前期)

上記の写真は 弥生草創期の集落 口酒井遺跡でみつかった東日本の縄文土器の特徴を示す土器片で、この地の土で作られていた。 弥生系の人達にはこのような縄文文様を作る技術はなく、東日本の縄文人たちがこの口酒井遺跡に居住していたと考えるべきだという。 そして、このことを手がかりに西日本の各地に同じような東日本の縄文土器が見つかり、この稲作が伝播してゆくこの頃に、東日本から数多くの縄文系の人達が来ていた証拠だという。

また、一方 反対に 東日本では、突然の稲作集落の出現と共に多数の縄文系土器に混じって、弥生系の土器が出土する。 縄文系の村に弥生系の人が入り込んで、稲作文化が伝播していったという。

上記の写真は 弥生草創期の集落 口酒井遺跡でみつかった東日本の縄文土器の特徴を示す土器片で、この地の土で作られていた。 弥生系の人達にはこのような縄文文様を作る技術はなく、東日本の縄文人たちがこの口酒井遺跡に居住していたと考えるべきだという。 そして、このことを手がかりに西日本の各地に同じような東日本の縄文土器が見つかり、この稲作が伝播してゆくこの頃に、東日本から数多くの縄文系の人達が来ていた証拠だという。

また、一方 反対に 東日本では、突然の稲作集落の出現と共に多数の縄文系土器に混じって、弥生系の土器が出土する。 縄文系の村に弥生系の人が入り込んで、稲作文化が伝播していったという。





そんな 縄文と弥生の人達の交流・文化融合を始めて解き明かしたのが、口酒井遺跡だという。 このような縄文系・弥生系の人達の融合による日本人の形成については日本人の DNA 分析からも明らかになっている。

「水田稲作の弥生時代は鉄器・戦さの時代 渡来系弥生人が縄文人を駆逐して水田稲作の文化を日本列島に広げていった」と位置づけられた時代もあったが、猪名川河口域の縄文晩期・弥生の集落群が、そんな弥生の始まりの時代感に疑問を投げかけるきっかけとなったのが、この「口酒井遺跡」である

日本人の心に脈々と流れる「共に生きる心優しき日本」。コロナ禍の中で、今の生き方を見つめなおす一助になればと。

そんな思いも込めて、今回の田能遺跡特別展を眺めました。

特別展展示内容全体をコンパクトにまとめ、人骨等の解析から、渡来系弥生人と縄文系の人たちが同じ集落に住んで、新しい弥生を時代築いていったとみてとれることをまとめた貴重な小冊子。

そのまま私の記録資料として以下に取り込み記載記録しました。



# 第1章

# 縄文人と弥生人

## 縄文人

彫りが深い

目が大きい

二重まぶた









## (渡来系)弥生人

あもなが面長

のっぺり顔

まぶたは厚い

目は細い

唇は薄い

大きな耳たぶ

ひげが濃い



弥生時代人 左:女性 右:男性 [イラスト:石井礼子氏/国立歴史民俗博物館提供]

ひげなどは薄い

突出した眉間

くぼんた鼻根

顔幅が広い

がんか 眼窩は角張る

そり上がった鼻

平均身長: 男性158cm 女性148cm

顔が短い

眼窩は丸い

顔が長い

平坦な眉間

平坦な鼻根

低い鼻

平均身長: 男性164cm 女性152cm

縄文人的な歯のかみ合わせ

上下の前歯がしっかりかみ合う





弥生人的な歯のかみ合わせ

上の前歯が下の前歯にかぶさる

Brothwell 1981 「Digging up Bones」より引用

平中橋孝博 2019『日本人の起源 人類誕生から縄文・弥生へ』を基に作成

#### 田能遺跡の弥生人 第2章 一田能家の人々-

方形周溝墓が3基と、木棺墓8基・木蓋土壙墓5基・ 土器棺墓4基の計17基の埋葬施設が見つかっています。 時期は大きく分けて弥生時代中期と弥生時代後期~古 墳時代初めです。

特に第3号方形周溝墓から見つかった第16号墓、第17 号墓からは豪華な装飾品を身につけた人骨が見つかりま した。



田能遺跡第4調査区

## 埋葬方法について

田能遺跡の墓には①土壙墓②木蓋土壙墓③土器棺墓④ 木棺墓の4種類の埋葬方法があります。③の土器棺は、 赤ちゃんが亡くなった時に棺として用いられています。



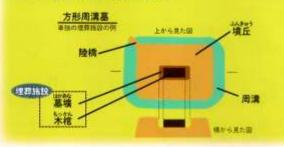




③土器棺墓 4)木棺墓

# 方形周溝墓と埋葬施設

方形周溝墓は、方形の墳丘の周囲を溝で囲んだ弥生 時代に見られる墓です。墳丘には埋葬施設が単独のも のや、複数のものがあります。



## 木棺墓(もっかんぼ)

#### 後期 第2号墓



#### 展示

身長:不明 年齡:17~ 25歳 性別:不明

体は上向きで足を伸ばした状態で葬 られたものを仰臥伸展葬といいます。 田能遺跡では、ほとんどが仰臥伸展葬 ですが、第16号墓だけが膝を立てた上 向きで埋葬されていました。



# 🗣:男 🥻:女 🥉:子ども 🧂:性別不明 頭部の方角は頭位を表す 🛑:墓の時期



身長: 153cm 年齡:10 歳程度※

性別:女

※歯の観察から成人女性という見解もあります。

#### 機期第8号墓



身長: 163cm 年齡:40 歲前後

性別:男

#### **機期 第13号墓**



身長:不明 年齡:20~40歳

性別:男?

豪華な装飾品をつけた弥生人たち <第3方形周溝墓>墳丘部:1辺約19m (周溝含めて1辺約26m)

#### 第 16 号墓 中期

身長:160cm 年齡:20~40歳

性別:男

埋葬姿勢: 仰臥屈脚葬 632 個の碧玉製管玉 棺内で水銀朱検出



碧玉製管玉出土状況



# 第17号墓中期

身長:160cm 年齡:20~40歲

性别:男

左腕に白銅製釧

棺内で水銀朱検出



白銅製釧出土状況

展示





# (県指定文化財)

# 木蓋土壙墓(もくがいどこうぼ)

#### 後期 第 11 号墓



身長:145cm 性別、年齡不明 下半身のみが見つかりました。

#### 機期 第7号墓



身長:147cm 年齡:25~35歳 性別:女

噛み合わせ:縄文人的



後期 第15号墓



身長:145cm 以上 年齡:18 歲以上 性別:女? 噛み合わせ:縄文人的

# 55 年目の真実!! - 骨考古学の学芸員が見た1号墓・3号墓

🗳:男 🥻:女 🥉:子ども 🛔:性別不明

頭部の方角は頭位を表す 💮 : 墓の時期

こう見えています…

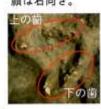
展示

大せ…

第1号幕 年齢:40歳前後 性別:男 後期 推定身長: 153.5cm



顧は右向き。



乾燥によるひび割れ。



息子だちよ、 あとはたのん やや下向き の額

膝は外に広がって いて少しガニ股っ ぼい埋葬姿勢。



骨の下に土器片が。 遺体を入れる前に土器 片がまかれています。

> きっちきち! 横から見た図

出土部位模式図

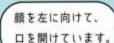
止まっていたタイマーは、 動き出している…

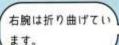
掘り起こされた瞬間から人骨の 劣化ははじまります。発掘当初 白かった骨も土と同じ色へと変 わりました。人は土へとかえっ ていきます。

# 第3号墓

出土部位模式図

年齢:成人 性別:女 後期 推定身長: 147.5cm





膝が内側に向いて足 がそろっています。

1号と同様に土壙内 に土器片がまかれ ています。





展示

鎖骨が急角度で 傾き、肩を上げ た姿勢。墓壙が 狭く、人一人は いるにはきゅう くつだった。





## 土器棺墓(どきかんぼ)

中郷 第 10 号墓(壷棺墓)

年齡:乳児

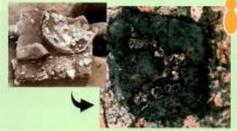


頭蓋骨が壺の上方にあることか 5、遺体は足を下にして壺棺に入 れたことが分かります。土器内部 には丹(赤色顔料)がありました。

🕴:男 🥻:女 🏅:子ども 🧂:性別不明 頭部の方角は頭位を表す 🛑: 墓の時期



**後期 第 12 号墓(壺棺墓)**年齢:2~3歳



幼児の上下顎と乳歯が残っていました。

#### 中期第20号墓(壺棺墓)

年齢:胎児もしくは乳児



かめかんぼ 第9号墓 (甕棺墓) には人骨は残っていませんでしたが、土器内部に丹がありました。

#### 勝部遺跡の弥生人 第3章

2基の方形周溝墓に木棺墓8基・土壙墓3基 土器棺墓3基の計14基の埋葬施設が見つかっ ています。

時期は2基とも弥生時代中期です。

第2号墓、第4号墓、第7号墓から石鏃、 第3号墓からは石槍が見つかり、争いの犠牲 となったと考えられています。



第1区墓域



石槍が刺 さってい ます。

第2区墓域

## 争いの犠牲となった弥生人



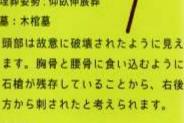
第 2 号墓 身長: 不明 埋葬姿勢: 不明 中期 墓:土壙墓

頭部は破壊されており、肋骨も乱れています。 5個の石鏃が発見され、うち2点は先端が肋骨 と腰骨に向くので刺さっていたと思われます。



第3号墓中期

身長:145cm? 埋葬姿勢:仰臥伸展葬





第4号墓中期

身長:不明

埋葬姿勢:仰臥屈脚葬

墓:木棺墓

足付近から石鏃が1点見つ かっています。



## 第7号墓中期

身長:不明

埋葬姿勢:仰臥伸展葬?

墓:木棺墓

棺の中央付近から石鏃が 1点見つかっています。

#### 第1号墓中期 四

身長:160cm (らい 年齡:30~40歳

性別:男

埋葬姿勢:仰臥伸展葬

墓:木棺墓



#### 第6号墓中期 墓:木棺墓





#### 第8号墓中期

性別:男 墓:土壙墓

大腿骨に柱状突起があるた め、筋力の多い人物であると 考えられます。





#### 第10号墓 中期

年齢:子ども 墓:木棺墓

残存しているのは歯と一 部の顎の骨のみで、その成 長度から子どもと考えられ ます。

> 首の一番上の骨で、 頭蓋骨を支える骨

です。

#### 第9号墓中期

身長: 152~154.2cm

年齡:成人 性別:女

埋葬姿勢:仰臥屈脚葬

墓:木棺墓

勝部遺跡出土人骨の中でもっとも 残存状態が良好です。

上腕骨、大腿骨、脛骨を計測し、 身長を復元することができました (152~154 cm)。また、寛骨の形か ら女性ということがわかりました。

骨格は正常な位置から大きく動き、 関節はつながっていません。これは 遺体が完全に白骨化したのち、棺内 に水などが流入したためと考えられ ます。



寛骨の性差 **\*Brothwell 1981** [Digging up Bones] より引用



[豊中市教育委員会蔵/当館撮影]



12回域もたまはも 真原の復二姓用

司刑担から水のた対反の技儿和木				
. 12-1-1-1	身長 (cm)		計測值 (mm)	
	右	左	右	左
上腕骨	152.0	-	297	-
大腿骨	154.2	153.1	416	(409)
形骨	152	=	337	37

( ) 内は復元計測値。計算式は藤井の式 (藤井明 1960『順天 堂大学体育学部紀要 3』) を使用

計測はすべて「マルチン式人骨計測法」(人類学講座編纂委員会 1991『人類学講座 別巻 1』)

に基づいて行いました。

#### 第12号墓(甕棺墓)中期



底部に人骨らしき石灰粒が残って いました。土器の下部に孔があけ られています。

#### 第13号墓(甕棺墓)中期



左:甕棺(蓋) 右:甕棺(身) 土器の下腹部に孔が あけられています。



**専給(身)裏** 

第14号墓(臺棺墓)中期



左: 壺棺(蓋をした状態) 右: 壺棺(蓋を外し た状態)

土器の下部に孔があけられています。

勝部遺跡の資料はすべて豊中市教育委員会所蔵 / 写真提供

#### 原田西遺跡の弥生人 第4章

昭和50年~58年の調査では南地区3基、 東地区10基、平成15年度の調査で1基、合 計14基の方形周溝幕から5基の埋葬施設が 見つかっており、うち3つからは木棺とその 破片が見つかっています。

時期は弥生時代中期で、人骨は見つかって いません。多くの周溝墓に陸橋があります。 昭和56年度調査地区全景





#### 方形周溝墓出土の土器について

原田西遺跡の方形周溝墓群出土の土器には同時期の土器であるにも関わら ず、新しい文様(凹線文)を施した土器と古い文様(棚描き文)のみを施し た土器が共に出土しています。これは田能遺跡や口酒井遺跡とは異なった特 徴です。新しい文様を持つ土器と、古い文様のみを持つ土器が長期にわたり 共に出土することを考えると、原田西遺跡の人々は葬送儀礼において昔なが らの伝統を引き継いでいたのかもしれません。



原田西遺跡方形周溝墓出土弥生土器 [兵庫県立考古博物館蔵/当館撮影]

原田西遺跡の資料はすべて兵庫県立考古博物館所蔵。写真については特に記載のない限り兵庫県立考古博物館提供。 当館撮影の写真については所蔵先に掲載の許可をいただいています。

#### 第5章 口酒井遺跡の弥生

円形周溝墓5基、方形周溝墓2基と、木棺墓6基・土壙墓 3 基・壷棺墓7基、土壙墓あるいは土器棺墓と考えられるも の1基の計17基の埋葬施設が見つかっています。

時期は弥生時代前期から後期で、木棺墓から人の歯が見つ かりました。



第9次調查 円形周溝基



木棺墓1 前期 歯のみ残存 朱があり



木棺墓3 前期 歯のみ残存 頭部付近に石鏃が出土



木棺墓 4 前剛 年齡:10~14歳 性別:女?



土壙墓 SK-6 中期 歯のみ残存



口酒井遺跡出土資料はすべて伊丹市教育委員会所蔵。写真については報告書より転載。6

#### 弥生時代の葬送儀礼?

口酒井遺跡からは、当時の葬送儀礼を示す壷と甕が見つかりました。壷や甕の中から河原石と炭が見つかっており、壷 (G52) の中からはコウヤマキの炭が見つかりました。炭は土器の中で燃 やされたもので、葬送儀礼の一行為たと思われます。



壺の中から見つかった炭と河原石 [口酒井遺跡報告書より転載]



口酒井遺跡出土弥生土器 [伊丹市教育委員会蔵/当館撮影]

#### 穴があけられている土器

墓から出土する土器には穴があけられている ものが多くみられます。穴をあけることで土器 は使えなくなるため、葬送儀礼に使われたと考 えられます。

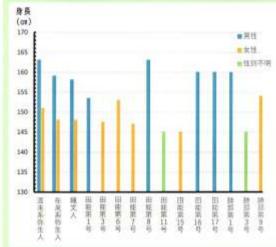


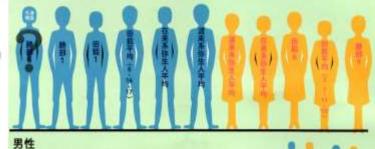
口酒井遺跡出土弥生土器 [伊丹市教育委員会蔵/当館撮影]

当館撮影の写真については所蔵先に掲載の許可をいただいています。

# 第6章 さいごに 一田能家の人々と周辺の人々一

## 弥生人の平均身長と田能遺跡・勝部遺跡の弥生人の身長





- ・在来系の平均より高い
  - 一部在来系の平均より低い(田能1)

#### 女性

- ・在来系の平均より低い
- ・性別不明(田能11・勝部3)は身長から女性の可能性
- ・渡来系よりも高い (田能6・勝部9)

#### 田能遺跡と勝部遺跡の出土人骨について

田能第8号・第6号や、勝部第9号のような高身長の人物がいる一方で、田能第7号・15号では歯のかみ合わせ、勝部第8号では大腿骨に柱状突起をもつなど縄文人の特徴をもっていた人がいます。近畿地方では、在来系弥生人と渡来系弥生人が混在しているとの研究結果もあり、田能遺跡と勝部遺跡もこのような状況を示していることがわかります。

#### 各遺跡のまとめ

田能遺跡…渡来系と在来系が混在していました。大規模な埋葬施設と豪華な装飾品を身に着けた人物がいました。

勝部遺跡…渡来系と在来系が混在していました。争いの犠牲者の墓があります。

原田西遺跡…方形周溝墓に供えた土器には古い文様のみで装飾された土器が長い間使われていました。これは田能遺跡、 口酒井遺跡とは異なります。方形周溝墓には陸橋があります。

口酒井遺跡…周辺遺跡で唯一、円形周溝墓が見つかっており、弥生時代の葬送儀礼の一端がわかります。

#### 主な参考文献

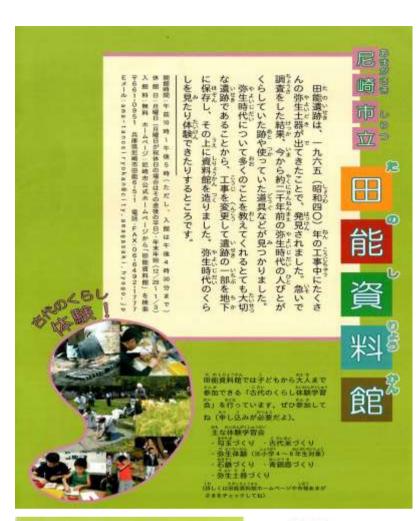
尼崎市教育委員会 1982 『尼崎市文化財調査報告第 15 集 田能遺跡発掘調査報告書』

伊丹市教育委員会 1995 『伊丹市埋蔵文化財調査報告書第 20 集 口酒井遺跡発掘調査報告書 第 22・25 次調査』

伊丹市教育委員会・六甲山麓遺跡調査会 2000『口酒井遺跡一第1次~第10次・第12次~第16次調査の概要ー』

豊中市教育委員会 1972 『勝部遺跡』

7 兵庫県教育委員会 2009 『兵庫県文化財調査報告第 361冊 原田西遺跡 - 猪名川流域下水処理場における急速る過施設に伴う発掘調査報告書 - 』



平成 27 年度の復元住居の屋根の葺き替えをきっかけに、 ランティアとして田総資料館の事業をサポートしています。 団体見学の小学生に土器の説明をしたり、古代のくらし体験 学習会では、製作のサポートをしています。学習会のために 事前練習をしたり、収蔵する土器の整理をしたり、来館者に 喜んでいただけるように、活発に活動しています。





学習会での サポート

#### 利用案内

体 館 日

入前用

午前10時から午後5時(入離は4時30分まで) 月曜日(ただし、月曜日が収休日の場合は開館し、 その直後の平日を休館)・年末年間(12/29~1/3) 無料(ご希望により説明を放します。)

団体でお無しの際は事前にお申し込みください。 大型パスは田範口からは入れません。

#### 交通案内



# 製造圏形制的から、制物バス 1 2 持ち かのか、観光限にかか、開始開始かた ともに、電影用力、作業、化学15 か ) 具体を参加的から、服体パス準期間 かけ、計画的、下体、排除10分 観光を参加的から、服体パスをローン コンド体と物系下体、技術53 が

製造型品製剤から、伊具市バス密度環 値「クリーンフンド」下巻、減少5次 .

お仲高さまや丁ロからおき取りに

#### 尼崎市立田能資料館

## 田能資料館開館までの道のも

#### 田能遺跡の発見

昭和40年9月、尼崎市田能字中ノ坪(現在の田能六丁目) で記略。伊丹、西宮三布共興による工業用水瀬田配水場建 設工事環場から、偶然大量の弥生土器が発見されました。

10月から約1年間の発掘調査では、大量の土器や石器 のほか、碧玉製管玉、白銅製鋼、銅銅鶴型 (3件は東指定 文化財)など大変貴重な遺物が出土し、田能適路と名付け 6tt Lt.

とくに、人骨を伴う末梢鼻や甕棺幕の発見は、弥生時代の 墓や埋葬方法がわかる賃重な発見となりました。しかし、調査 終了後は配水場建設によって破壊される予定となっていました。

発掘調査 一全国の考古学の研究者に助けられて一

発展当時、調査体制は整って おらず、適路の規模に比べて考 古学の専門調査員が不足してい ました。調査の統括者は、調査 異な確保するため、考古学会で、 遺跡と調査員の不足を呼び掛け ると、全国から多くの若い調査員 が集まりました。



现委员员

#### 保存運動

一はじまりは市民のやさしさから一



一方、発掘環境では、弥生人の基 を見ようと連日多くの人々が詰めかけ

21.6 全国から集まった着い調査員たちが、 暑さ寒さの中、懸命に働く姿を、じっ と見つめる市民がいました。彼らはそ の姿に心打たれ、差し入れや炊き出し をして、調査員を支援しました。

やがてこの支援は、遺跡の保存運動 へと広がっていきました。

#### 資料館の開館

一市民の思いが実る一

この勢心な保存運動によって、裏の出土地域は保存が決定 され、昭和44年6月30日には、国の史跡に指定されました。 昭和45年7月25日、市民の思いは結実し、ついに田能資料 館が開館しました。阪神間でも、非常に早い時期の資料館の 誕生です。

屋外には復元住居や高床倉庫のほか、幕を復元しています。

#### 田能遺跡について

弥生時代は、今から 2400 年前 (3000 年前の説もありま す) から1700 年前、日本に紹作、鉄器や青銅器などの新し い文化が中国大陸や朝鮮半島から伝わった時代です。但能 遺跡には労生時代の全期間をとおして、人々が暮らしていまし

昭和 40 年当時、近畿地方ではほとんど出土例がなかった 裏が人骨とともに発見され、弥生時代の墓制に新たな知見が かわりました。とくに、632個の碧玉製香玉の首飾りや左腕に の 白銅製鋼 (親輪)をつけた人々の発見は、田能の集落に指導 者がいたと推定することができます。また、銅剣の錦鬘は近鹿 地方で初めて発見され、1000度以上の高温で青銅を鋳造す る高度な技術をもつ者がいた可能性を示す費重な発見でした。

当時田能の集落は推名川の河口に位置していたため。豪 単な副葬品をもっていた人々は、ここで物資を集積し、近隣 の集落に物資を差配する権限と役割を担っていたのではない かと考えられています。



兵隊推指定文化尉

胡莉维罗



常提展不能的

田能遺跡から出土した土間などの遺物や、発揮環境から切り取っ て保存した効生時代の募も展示しています。 圧に1回、テーマに30つ て近隣の市町から賃重な資料を借りて展示する「特別展」のほか、 学習展示などの「企画師」を開催しています。



数年時代中華の土富

# 古代のくらし体験学習会

当館では、昭和 46 年から体験・参加型の「古代のくらし体験 学習会」を開催しています。

芽生土器づくりや、青銅器づくり、石のやじりづくり、勾玉づくり などを実施し、古代のくらしについて学ぶ機会としています。





称サナ麻づくり